

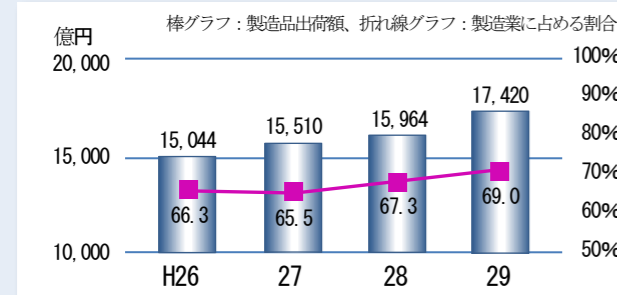
# 県南地域における産業教育の拠点となる専門高校の整備について

【策定趣旨】地域における学校の役割を重視した魅力ある学校づくりに向けて、地域の社会情勢や産業振興の動向等を踏まえ、学ぶことができる教育環境の整備を図るもの

## 1 現状

### 本県の産業動向

- 主なものづくり産業(輸送用機械、半導体製造装置、電子部品、デバイス等)における製造品出荷額の推移



(出典：工業統計調査報告書)

### 専門教育を行う学校の状況

(H26～R2は実績)

#### ■ 水沢工業高校の入学者数推計

H26	H29	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
160	134	149	136	145	142	141	132	139	135

#### ■ 一関工業高校の入学者数推計

H26	H29	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
156	119	113	123	121	116	113	111	109	100

#### ■ 千厩高校(工業科)の入学者数推計

H26	H29	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
37	33	32	28	27	26	26	25	24	23

(参考) 県南地域の中学校卒業生数見込み

ブロック	R2年3月	R3年3月	R4年3月	R5年3月	R6年3月	R7年3月
胆江	1,174	1,046	1,117	1,104	1,090	1,018
両磐	1,082	1,076	1,056	1,009	1,001	961
計	2,256	2,122	2,173	2,113	2,091	1,979

### 課題

自動車や半導体関連産業等を中心とした産業集積が進んでおり、ものづくり産業を担う人材を育成する必要がある。

### 地域検討会議における主な意見

- ・ 東北を代表するものづくり先進県として工業系の学校を維持し、職業人の育成を推進するべきである。
- ・ 少子化の状況、県の産業振興の方向性、産業界の動向・ニーズ等、県全体の状況をしっかりと把握した上で再編を進めるべきである。
- ・ 工業については特色ある学科を増やすなど、産業人材の育成の在り方を示すべきである。
- ・ 専門高校は、学ぶ内容の異なる学科間における競争が学校の活性化のために必要である。

## 2 学校の統合による魅力向上化

### 水沢工業高校

定員 160 名：4 学科 4 学級

[機械科、電気科、設備システム科、インテリア科]

### 一関工業高校

定員 120 名：3 学科 3 学級

[電気電子科、電子機械科、土木科]

### 千厩高校(工業科)

定員 40 名：1 学科 1 学級

[産業技術科]

ブロックを越えた工業高校の発展的統合

### 県南地域における大規模な工業高校の新設(令和7年度以降)

定員 240 人：6 学級校(工業学科6)

産業人材のニーズに幅広く対応できる工業教育を充実

- ・ 盛岡工業高校、黒沢尻工業高校と並ぶ、県南における工業教育の基幹校として整備
- ・ 学校規模を拡大することにより、現在設置している機械、電気、土木のほか、全国的にも設置数の少ない設備システム、インテリアの特色ある学びを確保するとともに、ITやIoT、AI等、これからの技術革新に対応した学びを実現する学科の創設を検討
  - ※ 愛知県では2021年度から県立工業高校を「工科高校」とし、IT工学科やロボット工学科等を設置
- ・ 新校舎建設を前提とし、工業教育に関する最新の施設設備を整備

### 統合による効果

- ① 工業教育における専門性の深化・新たな学びの実現
  - ・ 高度化が進む新時代に対応する力や、生産性の向上に寄与する実践的な学びの実現
  - ・ 生徒の多様な進路実現に向けた専門分野の知識・技術の定着・向上
  - ・ 多様な資格取得、技能検定等への挑戦による、即戦力となる工業人材の育成
  - ・ 同じ学校で各分野を学んだ卒業生同士の連携による地域産業の振興
- ② 学校規模の拡大による活動の活性化
  - ・ 体育祭、文化祭等における企画の内容の拡大、充実
  - ・ 部活動の充実、選択肢の増加、新たな部活動新設の可能性
- ③ 地域企業の技術力と競争力の向上などによる一層の産業集積の推進
  - ・ 時代に対応した、高いレベルの人材育成による、企業誘致の促進
  - ・ IoT等の革新技術を導入した、地域企業の生産性向上に資する人材育成の促進
- ④ ILC誘致を見据えた人材の育成
  - ・ ILCに関わる幅広い分野で活躍できる人材育成の実現
  - ・ 専門科目「課題研究」等、専門教育の充実

【参考】 ILC推進モデル校における取組(主なもの)

岩手 ILC 連携室オープンラボ見学、高エネルギー加速器研究機構(KEK)見学(つくば市)、ILC講演会開催、文化祭での発表(模型製作、活動報告、PR活動)、推進モデル校成果交流会等

統合・新設校の校名、校舎・施設設備、学科の構成等に関する具体的な内容については、統合対象校の校長等、PTA及び同窓会、並びに所在地の教育委員会及び地域の中学校の代表者等で構成される統合検討委員会を設置し、委員の皆さんの意見を伺いながら検討します。

## 3 県南地域の振興に向けて

### 【統合校の状況】

#### 特色ある学習活動

- ・ 地域企業と連携したインターンシップ、企業見学会等の実施
- ・ 「北上川流域ものづくりネットワーク」の支援による各種技術講習会、出前授業、企業ガイダンス、工場見学等の開催等

#### 資格取得の充実

ボイラー技士、電気工事士、危険物取扱者、測量士補、ITパスポート、電気工事施工管理技術検定、土木施工管理技術検定、各種技能検定(シーケンス制御、電子機器組立、機械加工、機械保全)等

各校の実績・成果を継承し、  
更なる向上への取組を図る

工業の専門的な学びを希望する、  
より多くの生徒に選択される学校へ

県南地域に集積する産業を支える  
人材を、この地域で育成する

### いわて県民計画(2019～2028)

#### 「北上川バレープロジェクト」の推進へ

- ・ 県南部の北上川流域において自動車や半導体関連産業を中心とした産業集積の振興に対応した高度技術人材の育成
- ・ IoTやAIを活用する『第4次産業革命技術』のあらゆる産業分野への導入等

21世紀にふさわしい新しい時代を切り  
拓く先行モデルとなるゾーンの創造